

2025年度 駿河学院専門学校  
自己点検・評価項目および学校関係者評価報告書（高等課程 情報教養科）

別紙

1 教育理念・目標

評価：適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

評価項目	評価	現状の問題点	改善のための方策	学校関係者評価委員の意見
教育理念並びに教育目標が明確に示されているか	4			出欠席の考え方は学校だけでなく、社会人でも変化してきている。 休むことに対する意識の違いが生じている。 世間との意識の差も考えつつ、生徒対応が必要な時代ではないか。 専門学校でも欠席する生徒は増加傾向にある。通信制高校から入学する生徒も増えていることも要因にある。
教育目標は卒業時の到達が読みとれるものになっているか	4			
教育理念並びに教育目標は定期的に見直されているか	4			
教育理念並びに教育目標が教職員・生徒に浸透しているか	4	近年の欠席する生徒の理由として「様子をみたい」という例があったが、そのような欠席理由は減少した。今年度の欠席する生徒でみられるようになったは「無断欠席」になる。 本人、保護者に連絡をしても連絡が取れず、理由を確認できない家庭が増えている	専修学校として、学校への出欠席に対する考え方について、意識改革が必要になる。 生徒だけでなく、保護者にも理解と協力を求めている。	4

2 教育活動

評価項目	評価	現状の問題点	改善のための方策	学校関係者評価委員の意見
カリキュラムは教育目標が反映されているか	4			専門学校にはいろいろな科から入学してくるが、駿河学院の生徒は、パソコンの基本的なスキルはあるため、パソコン慣れしているように感じる。普通高校から来る生徒はスマホ慣れはしているがパソコンスキルはない生徒が多い。駿河学院から入学した生徒で講師の先生方より褒められる生徒が多い。
定期的なカリキュラムの見直しがなされているか	4	全生徒がチャレンジする資格が中心となっており、生徒が将来を見据えて個々にチャレンジすることのできる資格を増やすことも検討が必要である。	時代や生徒の実情を理解し、教職員の意識改革から行っていく。	
テキストや教材は適切なものを選定しているか	3	普通科目の教科書については、連携先の高等学校で使用するものを選んでいますが、生徒に合わないレベルの教科書が選ばれている教科(数学)があった。	連携先の高等学校に、本校の生徒に合った教科書の採用と教材の提供を継続して依頼をしていく。	
授業の点検・評価が適切に実施されているか	4		来年度については、生徒のレベルに合った別の教科書の使用をすることにし、高等側へはレポート内容の検討について依頼をした。	
資格試験の合格率は	3			
資格試験不合格者の対策は	4			
評価は適切な方法で行われているか	4	生徒の評価について基準はあるものの、教員の評価に対する捉え方に温度差を感じる教科があった。		
目標に到達しない生徒に対し適切なフォローがなされているか	4		教員により評価に対する捉え方について差がないように、教員の研修を実施していく。	
進級、卒業の判定審査は適切に実施されているか	4			

3 生徒受入

評価項目	評価	現状の問題点	改善のための方策	学校関係者評価委員の意見	
生徒募集のための資料の表現・内容並びに募集活動の方法・時期は適切か	3	高等学校等就学支援金について、生徒募集要項に記載はされているものの、報道やSNS等からの情報のみで判断する家庭については、専修学校高等課程は、就学支援金の対外外だと思込んでいる保護者がいる	中学校や関連機関に実例として共有し、保護者等に正しい情報が伝わるようにしていく。	3	<p>専門学校では、学校の先生から聞いて知る生徒よりもスマホ等で調べて知る生徒の方が多くなっている。進路に対する動きも高校1年生でもこの時期に動く生徒が出てきている。個人で情報を入手できる時代になったからではないか。</p> <p>進路活動の早期化は専門学校でもみられる。</p> <p>今の時代はHP等の強化が必要な時代となっている。</p>
入学案内には志願者が必要とする情報が掲載されているか	4			4	
募集要項の内容は適切か	4			4	
学校見学会の時期、内容は適切か	4	例年、12月に学校説明会に参加する生徒が集中する傾向にあったが、近年は現状傾向にある。	中学校の進路指導時期や進路について考える時期等を考慮し、説明会等の開催時期を調整していく。	4	
入学者選抜の時期、方針、方法は適切か	3	特別選考試験の日程が土曜日実施になっている関係で、受験生との連絡の関係のためか、平時実施についての意見が中学校よりあった。	中学校の教員の働く環境等を考慮し、平日実施も検討していく。	3	
志願者状況、定員充足率はどうか	3	少子化の時代でもあり、募集定員の見直しから必要になってきている。	当面は単願で受験する生徒の割合を高める努力をしたい。	3	
中途退学の理由・実状を適切に把握しているか	4			4	

4 教職員組織

評価項目	評価	現状の問題点	改善のための方策	学校関係者評価委員の意見
専任教員は設置基準を満たしているか	4			4 業務内容の整理が必要ではないか。 人手不足の時代は学校も同じであり、業務内容の見直し等はしても良いのではないか。 専修学校としての業務、連携先の高校にかかわる業務の整理も必要ではないか。 成績処理の業務は教員の負担になっている。
専任教員1人あたりの担当科目時間数は適切か	4			
教職員の業務分掌は明確になっているか	4			
教職員の能力、業務内容の評価を定期的 に実施しているか	4			
教職員の資質向上のためのシステムは適切に構築されているか	4			
職員は業務が滞りなく遂行できる人数を雇用しているか	3	各学年2クラス編成、教員6名体制で実施していたが、教員1名を減らしたことで校務分掌の分担方法や役割、業務内容を再検討する必要がある。	削減できる業務については、業務内容から外す等、仕事の範囲についての意識改革を行う。	3
中途退学の理由・実状を適切に把握しているか	4			4

5 施設・設備等

評価項目	評価	現状の問題点	改善のための方策	学校関係者評価委員の意見
教室は学習を行うのに十分な面積を有しているか	4			<p>4</p> <p>4</p> <p>3</p> <p>4</p> <p>4</p> <p>4</p>
実習室は実習を行うのに十分な面積を有しているか	4			
実習設備は整備されているか	3	授業外として、生徒の希望で行う活動（サークル活動）で音楽活動をする生徒が出てきたが、防音設備対策が必要になった。	当面の間は、姉妹校である静進情報の防音設備のある教室を使用してもらいながら活動を継続できるようにする。道路拡幅工事の関係で校舎の改修が必要になった際に、防音設備のある教室の設置を検討したい。	
教室・実習室の管理は適切に行われているか	4			
生徒が自学自習できる教室を有しているか	4			
保健室は適切に整備されているか	4			

6 生徒生活支援

評価項目	評価	現状の問題点	改善のための方策	学校関係者評価委員の意見	
生徒と相談する体制が整備・機能しているか	4			4	防災面については、高校生は大人に変わる大切な人材になる。 高校生としての動きは働きができるようにしていくことが大切ではないか。
各学校行事について、適切な事後反省を行っているか	4			4	
防犯・防災訓練の実施等、不法侵入・災害に対する整備は万全か	4			4	
進路活動に関する支援が整備され、機能しているか	4			4	

7 管理・運営

評価項目	評価	現状の問題点	改善のための方策	学校関係者評価委員の意見	
消防計画、学校安全計画等は適切に整備されているか	4			4	特になし
個人情報保護法を遵守しているか	4			4	
セクシャルハラスメントに対する防止・対応策が整備されているか	4			4	

以上、本校の教育研究活動等の学校関係者委員会の意見として報告します。